

通信実施計画書

事業者名： 株式会社 暖暖 _____

研修期間： 4ヵ月

1 添削指導

(1) 添削責任者

講師番号	氏名	担当する科目・項目名
1	深名 俊之	3 介護の基本 ①②③④ 5 介護におけるコミュニケーション技術①② 6 老人の理解 ①② 7 認知症の理解 ①②③④ 8 障害の理解 ①②③ 9 ところとからだのしくみと生活支援技術①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫
2	深名 美幸	2 介護における尊厳の保持・自立支援①② 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①②③

(2) 課題作成者

講師番号	氏名	担当する科目・項目名
1	深名 俊之	3 介護の基本 ①②③④ 5 介護におけるコミュニケーション技術①② 6 老人の理解 ①② 7 認知症の理解 ①②③④ 8 障害の理解 ①②③ 9 ところとからだのしくみと生活支援技術①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫
2	深名 美幸	2 介護における尊厳の保持・自立支援①② 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①②③

(3) 添削指導の進め方（具体的な課題の配布方法・時期、提出方法、評価方法等）

別紙の通り

2 面接指導

(1) 面接指導者

講師番号	氏名	担当する科目・項目名				
		講義において実施する				

(2) 面接指導時期、指導時間数

指導回	指導時期	担当講師	内 容 (講義・演習教科名)	時間数
第 回			講義において実施する	時間

別紙

通信学習実施計画書

1 講義を通信の方法によって行う地域
八代市・八代郡・宇城市・宇土市

2 添削指導の方法

・自宅学習期間の質問方法

質問は、郵便・電話、FAX および電子メールによるものとする。

添削担当講師：別紙様式8、添削責任者を参照

住所：〒869-4203 熊本県八代市鏡町鏡 553-4

電話番号：0965-43-8007（受付時間：午前9時～午後5時）

FAX 番号：0965-43-8007

メールアドレス：info@day-dandan.com

3 科目別通信学習時間

科目番号・科目名	通信学習時間	通信形式で実施できる上限時間 (別紙様式4より)
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援	7.5 時間	7.5 時間
(3) 介護の基本	3時間	3 時間
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	7.5 時間	7.5 時間
(5) 介護におけるコミュニケーション技術	3時間	3 時間
(6) 老化の理解	3時間	3 時間
(7) 認知症の理解	3時間	3 時間
(8) 障がいの理解	1.5 時間	1.5 時間
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術	12 時間	12 時間

4 通信学習課題配布・提出標準日程

添削課題は4回に分けて配布する。

なお、第1回目の配布日は開講式の日到手渡す。第2回目から4回目の配布は、以下の通り。

提出日は期限厳守とする。

	課題出題日	課題提出日
第1回	平成25年10月7日	平成25年10月11日
第2回	平成25年10月11日	平成25年10月25日
第3回	平成25年10月25日	平成25年11月1日
第4回	平成25年11月1日	平成25年12月16日

5 通信学習課題（第1回～第4回）

① 出題形式 ○×問題、記述式など

② 出題範囲

第1回 出題数 20問

出題科目番号・科目名	問題数
2 介護における尊厳の保持・自立支援	○× 17問
3 介護の基本	記述 3問
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	

第2回 出題数 20問

出題科目番号・科目名	問題数
5 介護におけるコミュニケーション技術	○× 15問
6 老化の理解	記述 5問
7 認知症の理解	

第3回 出題数 20問

出題科目番号・科目名	問題数
9 ことごとからだのしくみと生活支援技術 I 生活支援技術演習	○× 15問 記述 5問

第4回 出題数 20問

出題科目番号・科目名	問題数
8 障害の理解	○× 15問
9 ことごとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術の講義・演習	記述 5問

6 評価基準

通信添削課題については、A、B、C、Dの4段階評価とし、各科目C以上を合格とします。

A=90点以上 B=80~89点 C=70~79点 D=70点未満

- A (よくテキストを学習でき、優れた理解ができています)
- B (不足のない理解はできているが今後も自己学習に期待したい)
- C (やや不足はあるも合格基準に達する理解はできている)
- D (理解に不足があり再学習が必要)

基準を満たさなかった場合は、再評価を実施するため、別途添削課題を配布する。

なお、再提出日は、手渡してから10日以内とする。